

製品名: JAM1 (18L11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12824**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	F11R
別名	F11R;CD321;JAM;JAM-1;JAM-A;JAM1;JAMA;JCAM;KAT;PAM-1;Junction adhesion molecule 1;
遺伝子 ID	50848.0
SwissProt ID	Q9Y624
免疫原	ヒト接合部接着分子 1/JAM-A の組み換えタンパク質

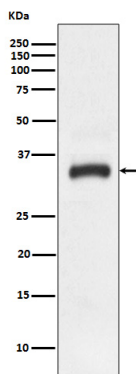
背景

上皮タイトジャンクションの形成に役割を果たしていると思われます。細胞接合の原始形態の初期に現れ、PARD3 をリクルートします。PARD6-PARD3 複合体の会合は、PARD3 と JAM1 の相互作用を妨げ、それによってタイトジャンクションの組み立てを妨げる可能性があります (類似性による)。上皮バリアの完全性に関与する単球の遊出を調節する役割を果たしています。血小板の活性化に関与しています。オルソレオウイルス感染の場合は、ウイルスの受容体として機能します。上皮タイトジャンクションの形成に役割を果たしていると思われます。細胞接合の原始形態の初期に現れ、PARD3 をリクルートします (PubMed:11489913)。PARD6-PARD3 複合体の会合は、PARD3 と JAM1 の相互作用を妨げ、それによってタイトジャンクションの組み立てを妨げる可能性があります (類似性による)。上皮バリアの完全性に関与する単球の遊出を調節する役割を果たしています (類似性による)。メモリー T 細胞および好中球の遊走に関与するインテグリン α -L/ β -2 のリガンド (PubMed:11812992)。血小板活性化にも関与する (PubMed:10753840)。

研究分野

心血管系

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の JAM1 発現のウェスタン プロット分析。